

飛躍



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

HIYAKU

第389号

TOP*NEWS

2020年度東海大学付属推薦制度 特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・付属推薦による 372名の推薦候補者決定、おめでとう

柔道部 男子団体 関東大会出場 第3位 柔道部 女子個人 関東大会出場 剣道部 女子団体 関東大会出場



「特別奨励入学制度」で推薦候補者に選ばれた皆さん

2019年6月12日(水)に2020年度東海大学付属推薦制度を利用した特別奨励入学推薦候補者の発表があり、今年度は40名の生徒が推薦候補者になりました。特別奨励入学制度は、高校1、2年次の学業成績の平均が7.5点以上かつ高校3年次の学園基礎学力定着度試験の学園順位が350番以内の生徒が対象になります。つまり、普段からしっかりと学習に取り組んでいる生徒が選出されることになります。

特別奨励入学の候補者に対しては、9月下旬から実施される東海大学の後期授業に「科目等履修生」として参加できる

「体験留学」と呼ばれる制度があります。これにより、自分の進学予定先の学部・学科の授業を体験して、早期に自分の夢を実現する力を養うことができます。さらに、12月5日(木)の付属推薦合格者発表が行われると、正式に特別奨励入学候補者に決定して学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんも、ぜひ特別奨励入学を目指して頑張ってください。

以下に、第1回目の特別奨励入学候補者となった40名の皆さんを紹介します。

特別奨励入学候補者氏名(クラス順)

藤井 一志	坂場 千紘	小山菜津海	富永 舞	奥友 雄大	丸山 亮	若槻 亮佑	舟木 栄美
木本 陽士	黒田 大貴	中村 水音	石橋 光	粕谷 宗吾	濱崎 結人	平尾 優和	本杉 環観
森山隆之介	大久保壮士	小山内大河	小林 徹平	戸森 大成	原 光希	平識 俊	遠藤 翼
近藤 樹	関根アケル摩周	平川 礼将	山本 真生	大橋 瞳子	上嶋 陽	鈴木 志歩	福田 貞子
石川伸之介	遠藤 吟弥	岡本 航輝	佐藤 透	白川 蒼斗	鈴木 優太	田中 寿英	松下 啓樹

2020年度 東海大学付属推薦制度 特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・付属推薦による 372名の推薦候補者決定

2019年6月12日(水)に2020年度東海大学付属推薦制度による推薦候補者の発表がありました。本号の表紙で紹介したように、特別奨励入学候補者として決定した40名以外にも、特別技能推薦で5名、特別学力推薦で261名、付属推薦で66名の合計372名の生徒が推薦候補者として発表されました。

推薦候補者となった生徒は、今後11月7日(木)の学園高大連携総合試験や、翌8日(金)の小論文試験に向けて油断することなく学習を継続して、12月5日(木)の合格発表に備えてください。

なお、教養学部芸術学科、医学部医学科、医学部看護学科、工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻を希望する生徒につきましては、適性審査を経て推薦候補者が決定しますので、今回は第2希望(第3希望)の学科の推薦候補者として発表されています。適性審査の結果発表については、10月号の『飛躍』にて掲載予定です。

特別奨励入学推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文化社会学部心理・社会学科	1
教養学部人間環境学科自然環境課程	1
体育学部体育学科	1
体育学部競技スポーツ学科	1
体育学部生涯スポーツ学科	3
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	4
健康学部健康マネジメント学科	2
理学部情報数理学科	3
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1

進学予定先	学科別人数(名)
工学部応用化学科	1
工学部建築学科	2
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	4
工学部医用生体工学科	6
観光学部観光学科	2
情報通信学部情報メディア学科	1
情報通信学部経営システム工学科	2
情報通信学部通信ネットワーク工学科	1
海洋学部海洋生物学科	3
海洋学部航海工学科航海学専攻	1

特別技能推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部競技スポーツ学科	4
国際文化学部地域創造学科	1

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部歴史学科考古学専攻	3
文学部日本文学科	2
文学部英語文化コミュニケーション学科	4
文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科	10
文化社会学部北欧学科	1
文化社会学部文芸創作学科	4
文化社会学部広報メディア学科	8
文化社会学部心理・社会学科	13
政治経済学部政治学科	1
政治経済学部経済学科	8
政治経済学部経営学科	13
法学部法律学科	1
教養学部人間環境学科社会環境課程	6
教養学部国際学科	8
体育学部体育学科	3
体育学部競技スポーツ学科	3

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部生涯スポーツ学科	7
健康学部健康マネジメント学科	18
理学部数学科	2
理学部情報数理学科	6
理学部物理学科	1
情報理工学部情報科学科	3
情報理工学部コンピュータ応用工学科	2
工学部生命化学科	9
工学部応用化学科	2
工学部光・画像工学科	2
工学部原子力工学科	1
工学部建築学科	26
工学部土木工学科	5
工学部精密工学科	1
工学部機械工学科	8
工学部動力機械工学科	2
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	11

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
観光学部観光学科	25
情報通信学部情報メディア学科	5
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	8
情報通信学部経営システム工学科	8
情報通信学部通信ネットワーク工学科	5
海洋学部水産学科食品科学専攻	1
海洋学部海洋生物学科	4

進学予定先	学科別人数(名)
海洋学部航海工学科航海学専攻	1
経営学部経営学科	1
基盤工学部医療福祉工学科	1
国際文化学部地域創造学科	2
国際文化学部国際コミュニケーション学科	1
国際文化学部デザイン文化学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	3

付属推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
文学部文文学科	6
文学部歴史学科日本史専攻	1
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部歴史学科考古学専攻	1
文学部日本文学科	2
文化社会学部アジア学科	8
文化社会学部北欧学科	4
文化社会学部文芸創作学科	1
政治経済学部政治学科	6
政治経済学部経営学科	1
法学部法律学科	13

進学予定先	学科別人数(名)
教養学部人間環境学科自然環境課程	4
教養学部人間環境学科社会環境課程	5
工学部光・画像工学科	1
工学部原子力工学科	1
工学部材料科学科	1
工学部精密工学科	1
工学部機械工学科	4
工学部動力機械工学科	2
経営学部観光ビジネス学科	1
国際文化学部国際コミュニケーション学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1

学園オリンピック1次試験・審査合格者発表

今年度の東海大学学園オリンピック文化部門1次試験・審査(音楽部門は除く)に、学園の中等部・高等学校から今年度も多数の応募がありました。本校からの応募は29名でしたが、その中から以下の16名が見事、2次審査に進むことになりました。この2次審査は、来る7月31日(水)から8月5日(月)までの6日間、群馬県にある東海大学嬬恋高原研修センターを舞台に行われます。「夏季セミナー」と名付けられたこの6日間、全国の付属高校から1次試験・審査に合格した仲間が集い、部門ごとに東海大学や付属高校の先生方の指導を受け、創作活動やフィールドワーク等のアクティビティーに励みます。その成果によって各部門の優秀者が選出され、表彰されます。



国語部門	数学部門	理科部門
石橋あつか (高2-10)	中村 水音 (高3-6)	加藤 将翔 (中1-B) 小島 崇史 (中3-A)
		阿島 里穂 (高2-10) 深川 真規 (高2-10) 石川伸之介 (高3-10)
英語部門	芸術(造形)部門	ディベート部門
指宿 瑞樹 (高3-3)	平賀 雄也 (高1-10) 田口 愛梨 (高2-2) 前田美里亜 (高3-2)	秋澤 雄生 (高3-8) 関 龍翔 (高3-10)
		堀江 新 (高2-6) 宮林 智加 (高2-10) 望月 理沙 (高3-1)

合格おめでとう! 嬬恋の夏季セミナーで頑張ってください!

SSH活動報告

アジア諸国の高校生と交流(5月20日)

(国研)科学技術振興機構の「さくらサイエンス・ハイスクールプログラム」に参加したフィリピン・インド・モンゴル・カンボジア・ラオスの高校生102名が本校を訪れ、吹奏楽部による演奏や世界経済の仕組みを学ぶワークショップ“貿易ゲーム”をSSHクラスの生徒たちと一緒に楽しみました。



3年10組 山崎 秋桜

私は3年間のSSH活動でいろいろな国の中高生と交流を行ってきましたが、こんなにいろいろな国の生徒と一度に交流するのは初めてでした。貿易ゲームではフィリピンの高校生と同じグループになりました。このゲームはグループごとに紙を与えられて、その紙を規定の図形(商品)に切って銀行にわたし、お金(資金)を得るというものでした。話していて英語が出てこないことや聞き取れないことが多々あったので悔しかったです。その思いと同時に、やはり英語は海外の人とコミュニケーションを取る上で欠かせない言語だと感じました。ルールを理解してリードしてくれたのはフィリピンの子たちでした。紙の大きさを測り、私たちにいろいろと指示を出してくれました。おかげで33チームの中から1位になることができました。

今回のプログラムで英語の大切さを学んだので、今まで以上に英語の勉強を頑張ろうと思います。

プリンス・オブ・ソクラー大学附属校(タイ王国)を招いての研究発表会を開催(6月4日/高輪キャンパス)

修学旅行の一環で来日していたタイ王国の高校生62名を迎えて、大学の大講義室で研究発表会を行いました。



3年10組 矢作 千秋

正直なところ、初めの学校紹介のときからPSU附属校のレベルの高さに驚かされました。彼らは一人ひとりがしっかりとした研究テーマを持っていました。また、その成果を説明する英語能力も身につけていました。そんな中、彼らの前でプレゼンテーションをすることにとっても緊張しました。しかし、ペアの田中さんと二人三脚で行ってきた実験に自信を持っていたので、なんとか乗り越えることができました。

今回の研究発表会で気づいたことは、まず自分の英語能力がまったくもって低いことでした。これからは英語能力を上げられるようにもっと努力したいです。また、異国の人や異国の言語に触れることの大切さも知ることができました。自分から積極的に話しかけると、相手のことを知ることができると同時に自分のことも知ることができるようになりました。

プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・トラン校との連携事業(6月10日~13日)

本校と科学を通じた国際交流を目的としたMOU(覚書)を結んで相互訪問を行っているPCSHSTラン校(タイ王国)から生徒6名が来校し、本校生徒と一緒に両校の教員による英語での授業を受けながら親睦を深めました。



2年10組 高橋 京平

僕は今回、タイのトラン校との交流を通して感じたことが二つあります。一つ目は、タイ人の英語力の水準の高さです。僕たちのたどどしくて何を言おうとしているのかわからない下手くそな英語とは違い、流暢で表情も豊かで相手に伝わる英語を全員が話していて、とても驚きました。

二つ目は、自分から異文化交流について積極的になろうとしている点です。確かに、言葉や食べ物など、生活の軸が異なる文化を持つ人々との交流はとも難しいものですが、お互い緊張し合っておどおどしていても何も始まらないので、自分の中にある恥ずかしさなどを捨てて相手のことを積極的に受け入れ、自分を伝えていくことが大事だと思います。

これら二つのことを、人生の経験値として活かして生きていければいいと思いました。

SSH活動速報

6月 1日	サイエンス基礎	リベラルサイエンス環境「私たちが暮らす地球」についての講義
6月 4日~	高校現代文明論	知的財産創造教育の開始(全2回)
6月 7日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Attacking and defending
6月 7日	アカデミックプレゼンテーションⅠ	生物に関する英語発表の実施
6月 8日	サイエンス基礎	更江渉先生((研)宇宙航空研究開発機構)による宇宙環境・開発についての講義
6月 10日	課題実験	掛布智久先生((公財)日本科学技術振興財団)他2名による放射線についての講義と実習(全2回)
6月 12日~	探究活動Ⅱ	ポスター作成の開始(全6回)
6月 14日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Finish writing
6月 14日~	アカデミックプレゼンテーションⅠ	CLILによる物理に関する英語発表準備の開始(全4回)
6月 18日~	高校現代文明論	「現代文明の諸問題」リサーチ編の開始(全7回)
6月 20日	サイエンス基礎	地質標本館・筑波宇宙センターの見学
6月 21日	サイエンス基礎	リベラルサイエンス物理「電気エネルギー」についての講義と電気パンの実験
6月 21日	アカデミックプレゼンテーションⅠ	Debate 1
6月 22日	サイエンス基礎	星野一生先生(慶應義塾大学准教授)によるプラズマについての講義と実験
6月 24日	サイエンス基礎	那珂核融合研究所の見学と研究者との交流
6月 28日	アカデミックプレゼンテーションⅡ	Debate 2
6月 28日~	公共科学論	家庭科教員による「科学と生活と公共」の実施(全3回)
6月 29日	サイエンス基礎	岡野邦彦先生(慶應義塾大学元教授)によるプラズマについての講義と燃料電池の実験

部・同好会活動報告

柔道部

柔道部男子団体 関東大会第3位
柔道部女子個人 関東大会出場

関東高校柔道大会を終えて



柔道部主将 3年5組 石村 健真

関東大会では、男子団体の一回戦から強豪校と対戦し接戦となりましたが、チーム一丸となり制することができました。準々決勝では東海大相模高校に2対2の代表戦で逆転勝ちをし、準決勝進出を決めました。準決勝では惜しくも敗れてしまいましたが、29年ぶりの3位入賞となりました。女子の個人戦では出場した山口選手は初戦にて延長戦の末、惜しくも敗れてしまいましたが全力で戦い抜くことができました。今回の関東大会で選手たちが練習の成果を十二分に発揮し3位入賞することができたのは、会場で応援してくれた仲間や保護者の方々、さらには日頃より応援してくださる先生方や友達

の力があってのことだと実感しました。本当にありがとうございました。これからも応援していただける柔道部を目指し、全国大会や各大会で活躍できるよう日々精進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

剣道部

令和元年第66回関東高等学校剣道大会出場

3年連続の関東大会

3年6組 榎 祐香

私たち女子剣道部は、6月7日から9日に東京武道館で行われた、第66回関東高等学校剣道大会に出場しました。女子団体としては、3年連続の関東大会の出場となり、去年のベスト16以上の結果を残すことを目標に日々の練習に励み、試合に臨みました。予選リーグの相手校は、埼玉県の星野高校と栃木県の文星女子高校と対戦しました。結果は、相手チームの雰囲気や試合の戦い方の違いに圧倒され、予選リーグ敗退となってしまいました。大会を通して、自己の反省点や改善点を見つけることができ、とても良い経験をする事ができました。今後も部員全員で切磋琢磨し合い、日々精進していきたいと思っております。応援をありがとうございました。



学年だより 中1

校外学習

5月24日(金)は校外学習で江戸東京博物館を訪れました。江戸東京博物館ではクイズ形式のワークシートを埋めるため、グループで協力しながら楽しく学びました。

学校の代表として

A組 加島 優

先日、中学生になって初めての校外活動、江戸東京博物館に行った。先生方の話で、学校の代表として行くという言葉があったので、いつもより気を引きしめて臨んだ。

江戸東京博物館は、小学6年生の終わりの頃に行ったことがあるので、どこに何があったかなどすぐにわかり、「ああ、懐かしいな」と思った。だが、小学生の頃とは違い、問題を解きながら回るのも、またよく知ることができたと思う。今までの江戸時代は、電気もない車もないということしかイメージがなかった。だが、中学生になっていくと、また見る目が変わってきて、物珍しいものや、リアルな絵や物、その当時の様相を生々しく伝えるものなどが魅力を感じた。まるで自分がその時代にいるように感じられる家もあった。実際に見たことのないものを作る、現すという現代の科学の素晴らしさに感動した。

ちょんまげの江戸時代と坊主頭のぼく

B組 加藤 将翔

まるで江戸時代にタイムスリップしたようだ。江戸東京博物館に足を踏み入れたぼくはそう感じた。自動車は人力車に、こたつは囲炉裏に。自動車も公衆電話も見慣れた姿とは違う様子で立っていた。さまざまな色で溢れたぼくの毎日に比べると、茶色と緑の江戸の街並みは静かで、不便に思うことばかりだけでも、どこか楽しそうに感じた。特に印象に残ったことは、当時の家が再現されていたことだ。人形が中にいて、ここで普通に生活しているかのような感じだ。ぼくの坊主頭もここならあまり目立たないかもしれない。もしかしたら、ちょんまげが似合っている人形にされてしまうかもしれない。でも、ぼくは囲炉裏もかまども藁を編むこともできないから、江戸時代では暮らすことができない。



江戸東京博物館



ワークシート取り組み中

初めてのスポーツ大会

中間試験が終わった翌日の5月23日(木)にスポーツ大会がありました。結果はA組の勝利。初めてのクラス行事でしたが、A組、B組とも勝ちにこだわり、一生懸命プレーをしていました。次回は11月。どんな戦いになるのか楽しみです。



A組綱引き



B組綱引き



シュート合戦

学年だより 中2

中間試験を終えて

中間試験明けの5月23日(木)に、スポーツ大会とキャリア教育を行いました。ドッジボールやバスケット、綱引きなどを楽しみました。その後のキャリア教育では、みずほ銀行、生命保険文化センターから講師の方々に来ていただき、自分の人生や社会の仕組みについて考えました。

24日(金)は、お台場の日本科学未来館に行きました。自分たちの生活を支える技術について学び、気になったものを班員にプレゼンして学びを深めることができました。

応援する大事さ

A組 南川 凜

私は今まで応援することが苦手だった。クラスメートが目の前で頑張っているのに、どうしても「頑張れ」という一言が口から出ない。そんなことを悩んでいたが、あつという間に2年生になった。

毎年、中間試験明けに行われるスポーツ大会はとても盛り上がりだ。私は、今年こそ大きな声で応援したいと思った。自分には勇気がない。でも、大きな声を出して言わないと意味がないので、私は声を出し、周りの皆と同じように応援した。その瞬間、爽やかな気持ちになり「応援っていいな」と思い、そのまま二度、三度も応援した。

いつも「声が小さい」と言われて、直そうと努力したが、「勇気がない」という理由で諦めていた。でも、そんな後ろ向きな考えも、勇気を振り絞ってみるといいこともある。結果、私のクラスは優勝した。応援賞はとれなかったけど、次はもっと声を出してみようと思った。体育祭も頑張りたい。

心遣いの技術

B組 谷 駿太郎

僕が日本科学未来館に行って印象に残ったのは、アイデア道具だ。

まず、集合したあとに班で3階を見学した。3階はあまり見られなかったが、「アイデア道具」のようなものを見た。それは、アイデアひとつで日常を楽しく便利にしてくれるものや、体の不自由な方が使うようなものまであった。例えば、目薬を楽にさせるようサポートしてくれるものや、車いすのブレーキの延長などさまざまなものがあったが、僕は特に箸の自動具というのが気になった。それは、握むのは手動だが、放すのは手の力を抜くだけで自動でしてくれるという道具だ。そのことで、子供や海外の方も箸を簡単に使うことができる。僕は、その心遣いに驚いた。

プレゼンの時に、僕はその魅力を思うがままに伝えた。すると皆から「すごい」と言われて、本当に嬉しかった。先生にも褒められ、やってよかったと思った。



キャリア教育



スポーツ大会



校外学習



学年だより 中3

5月23日(木)の午前は、スポーツ大会があり、ドッジボール、バスケットボール、大縄跳び、綱引きで盛り上がりました。午後は、キャリア教育が行われ、雪印メグミルクの方をお招きし、バター作り体験をしました。24日(金)に実施された校外学習では、上野にある国立科学博物館を訪問し、日本人と自然のかかわりの歴史や人類の誕生などについて学ぶことができ、充実した一日になりました。

国立科学博物館

A組 平井 可苗子

私は、もともと博物館に自ら足を運ぶようなタイプではないですし、科学は少し苦手なので少し冷めた気持ちでいました。しかし、その私の勝手なイメージは建物の中に入るとすぐに崩されることになりました。

展示物の近くには、説明が書いてあるものがあり、専門的な用語がたくさんありました。中には、わかりづらいものがあり、これはどういうものなのかと調べていたところ、1人のボランティアの人がとてもわかりやすく説明してくれました。本や教科書に載っていないような豆知識まで話してくれて、私たちが質問するとすべて丁寧に答えてくれる。私はとても嬉しく思ったのと同時に、その人は本当にこの分野が心から好きで話しているんだなと感じました。

中学生になり、スマホを持ちはじめ、考えるということがどれほど減ったことでしょうか。確かにネットは便利ですぐに答えを教えてくださいますが、それはある意味で損をしているのかもしれない。私は今回いくつかの展示を見てまわ中で、その展示物とその説明を見て考えなくてはなりません。

国立科学博物館は職員の声が生き生き飛び交い、また展示物をただ展示しているだけでなく、訪れる人々の想像力を刺激し、好奇心をかきたてさせてくれる場所だと思います。展示物を見た、あの心を奪われるような感動がそのまま自分の知識となり頭に染み付き、この経験は自分にとって大切なものになると思います。そして、今後の日常生活でなんでもいいから、考えてみることを心がけていきたいです。

国立科学博物館

B組 宮川 拓己

今回、校外学習では国立科学博物館に行きましたが、1年の時に江戸東京博物館に行った時のことを思い出して、「うん、つまらん」となると思っていました。

確かに最初の方は、すなわち振り子、地球によって変わる動物の大きさのところまでは、自分の全く興味のないうところでした。

しかし、鉱物や化石、動物の進化と変遷のエリアに入った時にその考え方は少し変わりました。個人的にそれらが好きで興味があったということもあります。

鉱物は多様な組成の石が長い年月をかけて結晶化したもの、化石は古代の生物の死体が大地の圧力によって石のようなものになったもの、動物は多様で幾重もの進化と変遷を経て今の自分たちの知る「動物」になっています。

このことからわかるように、今の自分たちがいる大地や生命になっている。すなわち、これまでの星が重ねてきた「歴史」が、織り重なりながら「今」が形作られていることを改めて感じました。



校外学習



校外学習



キャリア教育



キャリア教育

学年だより 高1

東海大学湘南校舎見学

5月8日(水)に校外活動で東海大学湘南校舎を訪問しました。天候に恵まれ、広いキャンパスを存分に体験することができました。楽しく過ごした一日の感想を紹介します。

東海大学湘南校舎を見学して

1組 大多 和翼

私が湘南校舎を見学して驚いたことは2つあります。1つは、大学の大きさです。学生数も教員数も非常に多くて驚きました。2つ目は海外との交流が盛んなことです。多くの国の言語に関して学ぶことができる、多くの留学生がいる、北欧に海外協定校が多いなど、本当に海外交流に力を入れていると驚きました。大学は社会貢献につながる研究と学びの場と言っていたのが印象的です。私も社会に貢献できるように頑張ろうと思いました。

湘南キャンパス見学を終えて

3組 金森 太輝

企業と商品の開発協力をしていたり、世界大学ランキングで1,000位以内に入っていたりと、今回私は東海大学の良さをたくさん知ることができました。また、自分が3年後にどんな大学生活を送るのがなんとなくわかった気がしました。学校の授業をしっかり受けて、学園基礎学力定着度試験で上位になり、希望の学部に進めるように日々努力していきたいです。

東海大学湘南キャンパスを見学して

5組 原 慈瑛

東海大学湘南キャンパスの敷地面積は東京ディズニーランド以上の広さである。湘南キャンパスには、コンピュータ室が46室もあり、無線LANが利用できる機器であれば、東海大学の学生は誰でも利用できるようになっていた。キャンパス内にあるインターナショナルカフェでは、使用できる言語は英語のみだった。今回の東海大学湘南キャンパスを見学した際に、ごみがポイ捨てされているといったこともなく、大学生のモラルの高さに驚いた。

湘南キャンパスを見学して

7組 井口 義隆

私が校舎見学で感じたことは、「大学は思ったよりも明るく活発」ということだ。もともと私は、大学へのイメージとして「堅苦しい」というのがあった。けれども実際に大学の校舎を見学し、それぞれの学生が大学生活を満喫している様子を見たことにより、私の中の大学へのイメージが大きく変わるようになった。今後の目標として、私もそのような大学生活を送るように今から未来を見据えて行動していきたいと思った。

湘南校舎見学会で学んだこと

9組 日比野 祐大

湘南校舎は、広さは約54万㎡もあり48の学部・学科が入っています。また海外からの留学生が多いのが特徴です。私は将来留学をしたいので、東海大学に充実した留学制度とたくさんの留学生がいてとてもありがたいと思いました。東海大学は、世界大学ランキングで1,000番以内に入っていて、世界でもトップクラスの大学です。その大学に付属推薦で行けるのはとても有利です。これからは、部活動と勉強の両立をして希望の学部に進学できるようにしたいです。

湘南校舎見学会を終えて

2組 檜貝 保波

私は、今回の見学会で大学のイメージが変わりました。それは、私が思っていたよりも、はるかに研究が本格的だったことです。東海大学は企業と共同開発をしていることを初めて知りました。企業と協力できるくらいの研究ができるのは、東海大学の魅力だと思います。中央通りには、部活動の勧誘の看板がたくさん並んでいてどれも楽しそうでした。また、大学のキャンパスもきれいで印象が良かったです。

校舎の施設

4組 潮田 琉空

施設が大きく、学生はみな自転車移動していて、歩いた時も広くて大変でした。そして、部活動ができるところも多かった。校舎に大きいジムもあり驚きました。私はアーチェリー部ですが、大学にはアーチェリー場もあり、ぜひ使ってみてみたいと思います。私はとても良い施設で勉強や運動に励みたいので、湘南校舎に行けるように日ごろから勉強していきたいです。

大学の雰囲気と居心地の良さについて

6組 江川 明衣

私が湘南校舎見学で気づいたことは2つあります。1つ目は、湘南キャンパスはとても広く自然が多いことです。湘南キャンパスはとても大きいので、自転車を使っている人も見られました。2つ目は、大学生の人たちはたくさんいて、楽しそうな人が多いと感じたことです。大学内を見学しているとき、東海大学の魅力を聞いたとき笑顔で質問に答えてくれました。そのほかにも先生方が道を教えてくれました。

夢に向かって

8組 齋藤 光

高校生になって初めて東海大学湘南校舎見学会に参加しました。現代社会のグローバル化に伴い、生きた英語力や専門的知識、技術等が求められるようになってきています。今回の見学会で、学び続けることの大切さに気づいたこと、私が目指すものまでの道標が見えてきたように感じました。今後も目標を現実に行けるよう、より一層努力をしたいです。

湘南校舎見学

10組 東泉 采利

湘南校舎に行き、全体会とラボを見学した。全体会では東海大学の功績や学部について卒業生の話を含めて聞けたので、これからの進路に役立てようと思った。ラボ見学ではNMRや電子顕微鏡のトップレベルのものを見ることができた。さまざまな供給機器を知ることができたが、NMRなどは大学に入れば、生徒が自由に研究のために使えると聞き、このような環境で学びたいと思い、東海大学に入りたいと思った。



学年だより 高2

高校2年生は、新しいクラス、新しい教室にも慣れ、落ち着いて学校生活を楽しくしています。ホームルームではクラス目標を、級長会では学年目標を決め、この1年間をどのように過ごすか、思いを新たにしたところです。今回は、学年目標と各クラスの目標を紹介します。

学年目標「克己心」

学年委員長 6組 石井 海輝

克己心には、強い意志を持って物事にあたるという意味や、己に打ち勝つという意味があります。2年生は1年生の手本となり、3年生を支えなければいけない立場だと思ったので、弱い自分の意志に打ち勝ち、責任を持った行動をするという理由で、この目標にしました。

1組 みんなで創る最高の架け橋
副級長 中邨 亜弥

この目標は1組の担任である橋先生の名前にかけて作った目標です。この目標にした理由は、2年生は真ん中の学年であり、3年生になると進路が決まる大事なテストがあるので、来年につなげられるように何事にも頑張ろう! という意味で作りました。

2組 青春謳歌
級長 正井 勇輝

この人生、一度きりしかない青春時代をこの素晴らしい仲間たちと共にエンジョイし、ひたむきに楽しみ合おうという意味が込められています。高校生活のかけがえのない思い出をこの2組で残せるよう、級長、副級長が全力でフォローしていきたいと思っています。

3組 ワッサー3組
級長 日高 継実

このクラス目標には特に意味はなく、ノリと勢いだけで決めた目標です。3組は個性豊かで良いクラスです。これからノリが良い楽しいクラスにしていきたいです。わっさあ。

4組 爽笑喜結
副級長 堀米 さくら

この目標は、4組全体で漢字を出し合って決めたオリジナルの四字熟語です。4組らしくいつも明るく爽やかに笑っていたい、団結して目的を達成する喜びを分かち合いたいという思いがあります。

5組 Let's Go 2525
副級長 黒澤 颯

高校生活残り2年、一度きりなので、何事にも全力で楽しみ、たくさん思い出を作れるように、5組の5をとって「Go」、2年5組の2と5をとっていつでも笑顔でいられるように、「2525」というクラス目標にしました。

6組 清々しく～意志ある所に道は開ける～
副級長 秋山 弘行

“清々しい”というのは、さわやかで気持ちが良いという意味を持ち、“清い”は純粋で澄んでいるという意味になります。今回僕たちのクラスは“清々しく”と書いて、あえて“きよきよしく”と読むことにしました。それは“清い”という意味を重ねたクラス目標にしたかったからです。純粋で澄んでいる、気持ちの良いクラスにしていきたいです。そしてサブタイトルのように、一人ひとりが意志を持って行動していけるように、クラスメートで協力していきます。

7組 令和
級長 青木 絵利香

「令和」の令には「きちんとしている、立派な」という意味があり、和には「なかよくする、争わない」という意味があります。私たちはこの「令和」という言葉に、お互いを認め合える良いクラスにしたいという思いを込め、クラス目標にしました。

8組 是是非非
級長 永田 涼介

この四字熟語は、良いことは良い、悪いことは悪いとして、公平な判断を下すという意味です。8組は切り替えが遅く、騒がしくなるときがあるので、一人ひとりが自覚を持って生活できるようにする、という意味を込めて、このクラス目標にしました。

9組 有言実行～みんなで決めてみんなで実行～
級長 阿部 源太

有言実行とは、決して簡単なことではありません。ですが、この目標がなされた時、この目標を掲げた意味が初めて見出されると思っています。自分は9組ならばできると信じています。その日まで、Keep going.

10組 刻苦精進
級長 田中 良昌

この四字熟語の意味は心身を苦しめて、懸命に努力することです。この言葉を選んだのは、私たち10組が勉強、スポーツまたSSH活動に苦しくても負けずに一生懸命に取り組んでいきたいという思いがあったからです。この言葉を目標に1年間頑張ります。

学年だより 高3

大型連休の終わった5月8日(水)、3年生は茨城県稲敷市にある、こもれび森のイバライドまで校外活動に行ってきました。ここでの最大の楽しみは、クラスの親睦を深めるバーベキュー。美味しいバーベキューに舌鼓を打ち、そして仲間たちとたっぷり思い出を作ってきました。それでは、各クラスからのご報告をお楽しみください。

バーベキューとは 1組 呉本 尚哉

校外活動では、お昼に班ごとでバーベキューをしました。バーベキューの起源は、南米の先住民が木で骨組みを作ったり穴を掘ったりして、そこに火種を入れ、そこで肉を蒸し焼きにしたものといわれています。クラスのとても良い思い出になりました。

思い出のBBQ 2組 山田 結夢

みんな待ちに待った校外活動でした。2組らしいハブニングから始まりましたが、とても楽しい思い出になり、一層仲が深まったと思います。これからの学校・学年行事は全て「最後」になるので、2組らしく全力で楽しみたいと思います。

友情 3組 三須 恵美香

初めての私服登校に、前日から心を躍らせていました。着いた先では、羊やウサギなどの動物たちと触れ合い、友達と写真を撮ったりと、終始楽しむことができました。BBQでは普段話することがあまりない人も会話ができ、クラス内の交流を深めることができました。

校外活動 4組 新井田 幸之介

校外活動ではヤギや馬などにえさをやったり、自然にたくさん触れることができました。BBQでは火の調整がとても難しく大変でしたが、肉や野菜をたくさん食べることができました。その後のアイス作りも上手くてよかったです。良い経験をすることができました。

楽しかったBBQ 5組 小貴 満里奈

私はこの校外活動を通して、また一段とクラスの絆が深まったと思います。特に自由時間はクラスの人と行動することが多く、普段はあまりしゃべったことのない子としゃべり、今ではクラスでも一緒にご飯を食べるくらいになりました。

BBQ 6組 田邊 くるみ

天候が悪くなることが予想されましたが、当日は晴れて予定通りBBQをすることができました。お肉を焼いて美味しくいただきましたが、煙のにおいで服が臭くなってしまいました。終わった後にみんなで臭くなって帰るのも、私たちにとって良い思い出となりました。

校外活動 7組 荒川 海音

今回の校外活動を通して、普段、学校では見ることのできないクラスメートの様子を見ることができました。また、普段から教室でよく話す友達、あまり話すことのない友達に関係なく、仲を深めることができたと思います。最後の校外活動を存分に楽しむことができました。

BBQと3年8組 8組 道岡 佑太

今回のBBQでは、クラスメート同士、思いやりを持って行動できたと思います。例えば、食材を焼いてくれる人、火力が弱かったら炭を持ってきてくれる人。テーブルを常に整理してくれる人、食べる専門の人(笑)。BBQを通じ、皆の仲がより深まったように感じます。

校外活動 9組 村山 花菜子

たくさんの自然に囲まれながら、BBQやアイスクリーム作り体験ができ、とても楽しかったです。また、班の人と協力することで、クラスの仲が前より良くなった気がします。これからの行事もみんなで楽しみ、大切な思い出を増やしていきたいです。

BBQ 10組 大山 淳樹

私はイバライドに行ったのは初めてで、木々が多く自然がいっぱいな場所だというのが第一印象です。BBQはほとんど経験がなかったので焼くことはあまりできませんでしたが、楽しむことはできたと思います。校外活動を通して、クラスの仲間と協力することができました。



お知らせ

第51回 剛健旅行

7月18日(木)～19日(金)



励まし合って皆でゴールをめざそう!

剛健旅行は地元の警察・役所・消防署・病院など、多くの方々の協力により実施できています。
 嬭恋村の方々、応援して下さる保護者の皆さんへの感謝の言葉と気持ちを忘れないでください。

雨具や着替え・防寒具の用意も忘れずに!!

行事 予定

July 7月

September 9月

- 1日(月) 朝礼 短縮授業
- 2日(火) 校医相談日④
- 7日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(中等部)
- 12日(金) 漢検①(希望者)
- 14日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会①(高校)
- 15日(月) **海の日**
- 17日(水) 月曜日の授業 第51回剛健旅行開会式(7時限)
- 18日(木) **第51回剛健旅行(嬭恋高原研修センター周辺:～19日)**
- 20日(土) 2時限授業
剛健旅行閉会式、夏期休暇前諸注意(3時限)・大掃除、HR(4時限)
- 22日(月) SSH科学体験学習旅行(～24日)
- 31日(水) 学園オリンピック文化部門
[国語、数学、理科、英語、芸術(造形)、知的財産、ディベート]
(嬭恋高原研修センター:～8月5日)

- 2日(月) 朝礼
短縮授業／避難訓練
- 3日(火) 校医相談日⑤
- 7日(土) 後援会委員総会②
- 10日(火) 生徒自宅学習日
- 11日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 12日(木) 生徒による授業評価アンケート②
生徒による学校評価アンケート①
- 16日(月) **敬老の日**
- 17日(火) **前期期末試験**
(中等部:～19日、高校:～20日)
- 20日(金) **写生大会(中等部)**
- 21日(土) 生徒自宅学習日
- 22日(日) **東海大学オープンキャンパス**
(高2:湘南校舎)
- 23日(月) **秋分の日**
- 24日(火) 答案返却
- 25日(水) 生徒自宅学習日(～26日)
- 27日(金) **第18回高校体育祭**
(さいたま総合グラウンド、
雨天時は授業日)
授業日(特別時程:中等部)
- 28日(土) 短縮授業
保護者会②
保護者による学校評価アンケート

August 8月

- 6日(火) 学園オリンピックスポーツ大会(湘南校舎:～8日)
- 8日(木) 登校日(中2)
- 9日(金) **イングリッシュサマーキャンプ(中2:河口湖、～11日)**
- 11日(日) **山の日**
- 13日(火) 一斉休暇(～18日)
- 17日(土) 東京都私立学校展進学相談会(科学技術館:～18日)
- 24日(土) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(中等部)
- 25日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(高校)
- 26日(月) 夏期講習(中等部:～29日)
- 27日(火) 外部模試(高2希望者)
- 31日(土) GTEC CORE受験日(中2・3)

編集 後記

梅雨入りし曇りや雨の日が続くと、気持ちまでどことなく沈みがちになる。そんな時、梅雨の晴れ間がものすごく貴重なものを感じられた経験はないだろうか。普段、何気なく「当たり前」のように過ごしていたことも、環境や状況が変わることによってそれが「当たり前」ではないことに気づかされる。自分や家族が病気をして改めて健康で何不自由なく生活できていたことのありがたさを実感することがある。「当たり前」が「当たり前でない」、いかに恵まれていたか、いかにありがたかったか、そうした気持ちを忘れずに生活していきたいものだ。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>